

## PRESS RELEASE

2024年12月4日

プライム ライフ テクノロジーズ株式会社

### 配筋検査用 AI カメラ『CONSAIT Eye (コンサイト アイ)』に、新機能「AR スケール」を追加 ～「AI カメラ計測」が難しい箇所も、簡易にカバーし検査を完結～

プライム ライフ テクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北野 亮）は、配筋検査用 AI カメラ『CONSAIT<sup>※1</sup>Eye (コンサイト アイ)』に新機能「AR スケール」を2024年12月20日より標準搭載します。これにより、「AI カメラ計測」でカバーできない箇所でも、実物のスケールを使用せず画面上のデジタルスケールで簡単に検査が行えるため、さらなる検査効率の向上が期待できます。また、状況に応じて「AI カメラ計測」と「AR スケール撮影」の検査方法が選べるため、現場ごとのニーズに合わせた柔軟な使い方が可能になります。

#### ■ 「AR スケール」機能により、記録写真の撮影を効率化

『CONSAIT Eye』は、AI を搭載した 4K 3 眼ステレオカメラ技術により、鉄筋径、本数、ピッチを計測し、従来の検査作業に比べ、大幅に作業負担を軽減でき、かつ高精度な配筋検査を実現してきました。しかし、「AI カメラ計測」でカバーできない箇所では、物理的なスケールとマーカーを使用した記録写真撮影が必要でした。このたび追加した「AR スケール」機能により、鉄筋に対して正対した状態でワンショット撮影するだけで、簡単に画面上でのデジタルスケール表示が可能となります。さらに電子マーカーとの併用で、記録写真撮影がより効率化されます。

#### 『CONSAIT Eye』 「AR スケール機能」画面イメージ



AR スケールを設置したい線分を選択



選択した線分に AR スケールを配置

#### ■ 「AR スケール」機能の精度

『CONSAIT Eye』（AI カメラ）のピッチ計測精度は、国土交通省の「デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測の実施要領（案）」（令和5年7月）<sup>※2</sup>に準拠したレベルです。今回の「AR スケール」機能は、この AI カメラ計測と同じ技術で検知した鉄筋線分に沿って「AR スケール」を配置します。なお、「AR スケール」を表示する際、正対して鉄筋を撮影できているかをアプリが自動判定します。

## ■「AI カメラ計測」と「AR スケール撮影」の柔軟な選択が可能

配筋検査現場の状況に応じて、「AI カメラ計測」と「AR スケール撮影」のどちらも選択できます。「AR スケール撮影」を使った検査では、現場作業が簡易化され、検査時間のさらなる短縮が期待できます。

本機能は、2024年12月11日（水）～13日（金）建設DX展においてもご紹介いたします。

・東京ビッグサイト 南展示棟4階 South Hall 3・4 建設DX展 ブースNo.44-6

詳細はこちら：

[プライム ライフ テクノロジーズ株式会社 - 出展社詳細](#)

来場者ご登録はこちら：

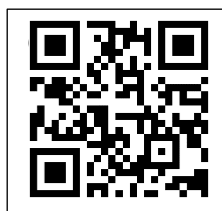
[入場用バッジ登録フォーム](#)



## ◎関連プレスリリース：

・2024年11月14日発表 建設DXサービス『CONSAIT（コンサイト）』のBasicに「工程内検査（指摘）」機能を追加し全サービス（Eye、Pro 配筋検査、Basic）を一般向けに提供開始  
～第4回 建設DX展（東京、2024年12月11日～13日）に初出展～  
<https://prime-life-tec.com/news/2024/1114/release.pdf>

◎CONSAIT専用ホームページ ⇒ URL：<https://www.consait.com/>



QRコード

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※1：CONSAITは、プライム ライフ テクノロジーズ株式会社の登録商標です。

※2：「デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測の実施要領（案）」（国土交通省 令和5年7月）  
[001619475.pdf](#)

\* 本件に関する問い合わせ先 \*

プライム ライフ テクノロジーズ株式会社 経営企画部 山口 寛 古矢 直美

E-mail：[info@prime-life-tec.com](mailto:info@prime-life-tec.com)